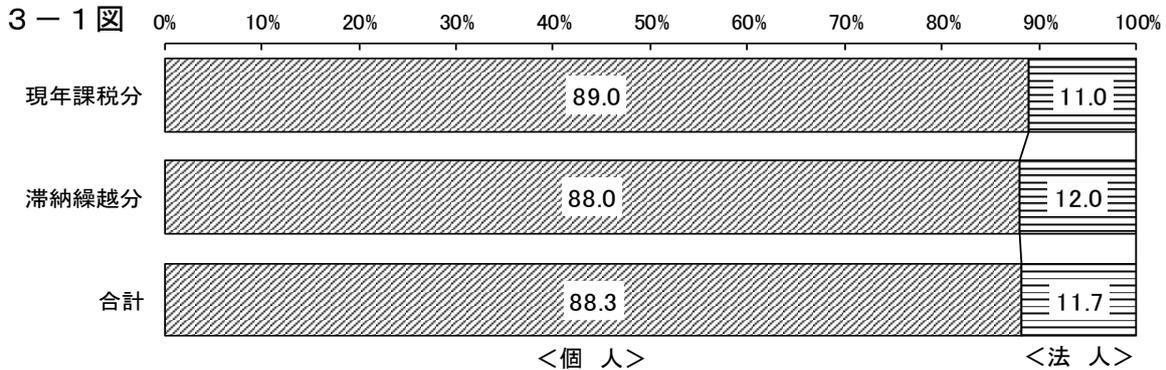


3. 収入未済額の状況

◎ 平成29年度末現在の収入未済額(調定額－収入済額－不納欠損額)は、地方財政状況調査によると、総額で約409億円であり、前年度と比べ約59億円減少した。

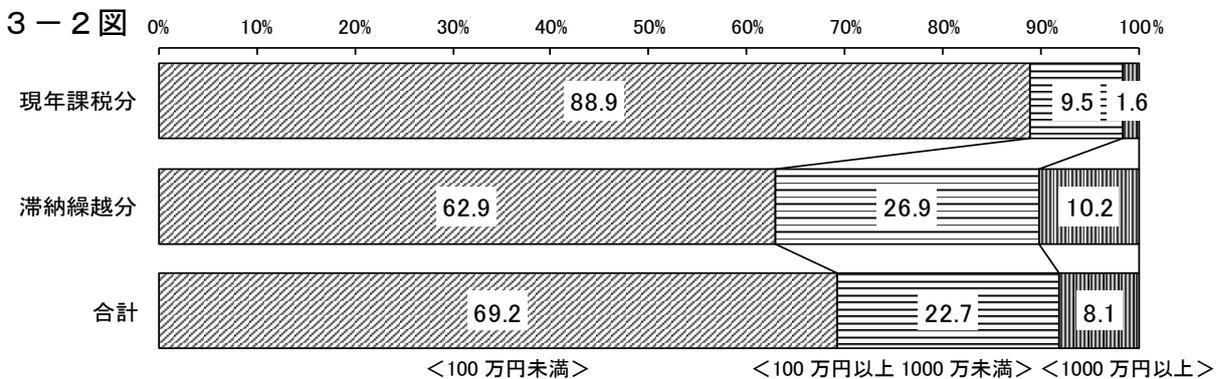
個人・法人別の状況

◎ 収入未済額の88.3%(前年度比0.2ポイント増)を個人分が占めている。
(千葉市と船橋市は数値を把握していないため、除いて集計している。)



階層別の状況

◎ 階層別に見ると、100万円未満の滞納者の割合が、収入未済額の69.2%(前年度比1.0ポイント増)を占めており、特に現年課税分にその傾向が強い。
(千葉市と船橋市は数値を把握していないため、除いて集計している。)



管内・管外別の状況

◎ 管内(市町村内)と管外(市町村外)に区分すると、管内分が、収入未済額の77.5%(前年度比0.6ポイント減)を占めている。

(千葉市と船橋市は数値を把握していないため、除いて集計している。)

